

2006年10月25日 第291号



スズキ労連

第35回
定期大会
特集

静岡県浜松市増楽町20
電話 (053) 447-3079
スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤 幸博
編集人 古川 正明



第35回定期大会開催

2006年9月17日(金) 9:00~14:45

於:スズキ労働会館 大ホール

スズキ労連は、さる9月17日(金)9時より加盟組合の代表議員109名、傍聴3名、役員などを集め、スズキ労働会館大ホールにおいて第35回定期大会を開催いたしました。

大会では、執行部より、第34回の一般活動経過、会計監査、会計監査結果について報告し、承認されることにも、第35期の予算を提案し、満場一致で可決、決定されました。また第35期開の新役員を選挙で選出、運動方針案も満場の承認され、「広げよう仲間の輪、強めよう組織の力、みんなでつくろう安心の未来」をスローガンに、向こう二年間の活動を力強くスタートいたしました。



【議長団】

スズキ労連
加藤二三男 代表議員(上)
小嶋幸高・執行部副
藤田典之 代表議員(下)

第35回 定期大会概要

スローガン探択!
「広げよう仲間の輪 強めよう組織の力」
みんなでつくろう安心の未来

【報告承認事項】

- ① 第34期活動経過報告
- ② 第34期会計決算報告
- ③ 第34期会計監査報告

【議案】

- ① 新規加盟組合承諾の件
- ② 第35-36期役員定数の件
- ③ 第35-36期運動方針(案)の件
- ④ スズキ労連規約改定の件
- ⑤ スズキ労連会費統一について(案)
- ⑥ 第35期予算(案)の件
- ⑦ スズキ労連組織内候補者推薦(案)

【役員選挙】

- ⑧ 第35-36期役員選挙

【参加者】

大会代表議員	96名	傍聴者	53名
来賓	6名	執行部	26名
顧問	2名	書記	2名
		計	185名

【各種委員】

- ◆ 司会(1名)
寺岡一樹(スズキ部品秋田労組)
- ◆ 議長団(2名)
加藤二三男(スズキ労連・相良支部)
藤田典之(小輪金属・熱海理労組)
- ◆ 資格審査委員(4名)
☆ 松原正司(バルソニカ労組)
小川敏幸(スズキ精密工業労組)
西山輝宏(ニステック労組)
伊藤忠昭(浜松パイプ労組)
- ◆ 議事運営委員(4名)
☆ 池富彰(スズキ労連中核)
牧野正人(スズキ部品秋田労組)
林昭男(スズキ部品富山労組)
伊勢亀徳興(スズキ新潟販売労組)

- ◆ 選挙管理委員(5名)
☆ 武藤進司(スズキ労連)
兵子雄二(平岡ボーア労組)
山本満(スズキ部品浜松労組)
竹下太二(スズキ輸送網白労組)
杉本和義(岐阜スズキ販売労組)
- ◆ 書記(2名)
鈴木久恵(スズック労組)
小澤貞典(スズキ労連)

☆ 印:委員長(敬称略)

スズキ労連 組織内候補(予定)者の擁立

田口章が考える 「明日の浜松」

●行財政改革

徹底した行財政改革をおこない、
筋肉質で強い自治体づくりを進めます

●地域社会の活性化

市民協働を進め、地域コミュニティを活性化します

●浜松らしい街づくり

浜松の特徴を活かした、キラリと光る街をめざします

プロフィール

田口 章 (たぐち あきら)

昭和37年1月25日生まれ(44歳)
昭和59年度慶應義塾大学法学部卒業
同年鈴木自動車工業株式会社(現スズキ株式会社)に入社
営業マンとして国内に営業
平成6年よりスズキ労働組合専任役員となり、
現任専任中央執行委員長、スズキ労働組合総合連合会幹事長

＜組合職歴＞自動車経理連合会幹事(平成14～19年)
連合専任次長地域協議会議長(平成15～19年)
＜地域活動歴＞人野小学校PTA副会長(平成16～17年)
＜社会活動歴＞高校の労働教育協議会委員
浜松市オーケストラ楽団専任専任専任専任
静岡県教育委員会次長兼静岡地域内労使協議会委員
＜趣味＞ハイキング・ゴルフ、スノーボード、歌を聴くこと
＜家族＞妻・長女・長男・次男の5人暮らし



みなさんと創る元氣な浜松

たぐち あきら 田口章

スズキ労連は、来年の浜松市議会議員選挙
に「田口 章」(現・スズキ労連副会長)を
擁立し、地方行政へ私たちの声を届ける候補
(予定)者として送り出すことを今大会に提

案、満場一致で承認されました。私たちスズ
キ労連の代表として「田口 章」の必勝に向
け、皆で汗をかき一丸となり取り組んでい
きましょう。

スズキ労連事務局紹介 宜しくお願ひします!



書記
小澤 真由姫
(たぐちまゆみ)

「突然ですが、地方自治の小澤です。
皆さんの土佐に生きるよう頑張りますので、
どうぞ宜しくお願いいたします。」



事務局次長
鈴木 圭
(すずき けい)

「この度、事務局次長の役割をいただきましたが、
本日はです。
スズキ労連に身をつけて、地域の活性化活動を進
めます。就業内容の経験を活かし、コミュニケーション
に勝つ、仲間を大切にする、仲間を大事にする、
役に立てればと頑張ります。」



事務局次長
桑野 昇
(くわの のぶ)

「この度、事務局次長の役割をいただきましたが、
本日はです。
スズキ労連に身をつけて、地域の活性化活動を進
めます。就業内容の経験を活かし、コミュニケーション
に勝つ、仲間を大切にする、仲間を大事にする、
役に立てればと頑張ります。」



事務局次長
佐藤 真一
(さとう まこと)

「この度、事務局次長の役割をいただきましたが、
本日はです。
スズキ労連に身をつけて、地域の活性化活動を進
めます。就業内容の経験を活かし、コミュニケーション
に勝つ、仲間を大切にする、仲間を大事にする、
役に立てればと頑張ります。」



事務局次長
光田 空
(みつだ あきら)

「この度、事務局次長の役割をいただきましたが、
本日はです。
スズキ労連に身をつけて、地域の活性化活動を進
めます。就業内容の経験を活かし、コミュニケーション
に勝つ、仲間を大切にする、仲間を大事にする、
役に立てればと頑張ります。」



事務局長
古川 正明
(ふるかわ まさあき)

「この度、事務局次長の役割をいただきましたが、
本日はです。
スズキ労連に身をつけて、地域の活性化活動を進
めます。就業内容の経験を活かし、コミュニケーション
に勝つ、仲間を大切にする、仲間を大事にする、
役に立てればと頑張ります。」

池口さんの活躍をみんなで応援しよう!!

- 多くに愛されている人から、多くに尊敬されている人まで、
 - さらに尊敬している人が、本当に頼れる社会になっているのでは、か
 - さらに多くに愛されている人から、本当に尊敬されている人まで、
- 安心の姿、愛定のこれから、安全の先導を、わたしはめざします。



サラリーマンの代表として、
国会で不公平な負担の是正を進めます。
 自動車ユーザーの代表として、
**納得のできる税制や自動車に関する
 諸問題に取り組みます。**



- サラリーマンに過度な不公平税制の是正と
 自動車事故賠償の損害化を図り、公平・公正な社会を創ります。
- ムダ遣い政治の撲滅と地域主体の行政による創産策を進め、
 日本の成長を助けます。
- 公的年金制度の抜本改革等、
 安心できる将来をめざします。



今大会にも来賓としてお越し
 いただいた池口篤次参議院議員を改
 めてご紹介いたします。来年施行
 予定の第21回参議院議員選挙に、
 スズキ党連の運動方針を理解を示
 し、我々の代表として政治活躍す

に取組む組織内議員の池口篤次
 氏を推薦し、当選に向けた支援活
 動を進めていくことを、今大会に
 おいても全員の手拍子で確認いたし
 ました。

期 間	昭和24年 11月	長野県本庄町大森村立丸
	昭和47年 3月	早稲田大学理工学部機械工学科卒業
	昭和47年 4月	本田技研工業株式会社入社
	昭和47年 5月	株式会社本田技術研究所配属
	昭和57年 3月	本田技研労働組合労働組合研究分会 執行委員長
	昭和61年 3月	本田技研労働組合 書記長
	平成 4年 3月	本田技研労働組合 中央執行委員長、 自動車総連 中央執行委員
	平成 8年 3月	全国本田労働組合連合会 会長、自動車総連 副会長

議員職	平成12年 7月	参議院議員初当選 (民主党・比例区)
選 任	(2006年8月現在)	
参 議 院		財政金融委員会 委員長
民 主 党		ネクスト文部科学副大臣 (科学技術担当)
		自動車総連顧問
		「家と社会を考えるフォーラム」幹事長
		全国本田労働組合連合会特別顧問

自動車総連医療共済 **マイドクター**

（国保共済法第12条）（国保共済法第15条）

独自のサービスを加え、制度を一新！ いざという時に備え、ぜひ加入をご検討ください！

Aさん(35歳男性)のご契約例：おすすめコース

名医手配・紹介サービス 電話健康・医療相談サービス + 入居したとき 入居したとき 入居したとき	海外・ケガで継続的に入院した時を されたとき(保険適用外)	日額 5,000円
	所定の手術を受けたとき (9割負担)	手術日額により 25・10・5万円
	ワンで継続2日以上入院を されたとき(1割負担)	日額 5,000円
	上記入院に伴い、退院後に 通院されたとき(1割負担)	日額 3,000円
入院給付金のお支払いは別々、 保険期間終了時に健康にすごされている場合		健康ボーナス 10万円 <small>(国保適用外)</small>

保険料は
月々わずか

← **2,470円**

※当初10年型(保険期間)の保険料
 の契約を更新された場合は保険料は更新時の実
 料率および 保険料率で計算されます。

引当保険会社

AIGエジソン生命保険株式会社

フリーダイヤル **0120-883652**

● 国保の保険料、保険金は「お住まいの市区町村」に入居する日(住所)に適用され、国保に加入した場合は適用されません。
 ● 国保に加入する際は、住所、年齢、性別、収入、職業、世帯収入、健康状態、既往症の有無、喫煙習慣の有無、付帯する国保特約の加入状況、保険料の支払方法、加入期間の長さ、国保に加入する日(住所)に適用され、国保に加入した場合は適用されません。
 ● 国保に加入する際は、住所、年齢、性別、収入、職業、世帯収入、健康状態、既往症の有無、喫煙習慣の有無、付帯する国保特約の加入状況、保険料の支払方法、加入期間の長さ、国保に加入する日(住所)に適用され、国保に加入した場合は適用されません。
 ● 国保に加入する際は、住所、年齢、性別、収入、職業、世帯収入、健康状態、既往症の有無、喫煙習慣の有無、付帯する国保特約の加入状況、保険料の支払方法、加入期間の長さ、国保に加入する日(住所)に適用され、国保に加入した場合は適用されません。

TEL:03-3003-0008(05:00)

議件・報告承認事項



平塚事務局長



吉田事務局長

報告承認事項

第34期活動経過報告を専任事務局長より、第34期会計決算報告を専任事務局長より、第34期会計監査報告を監査計監査「フニック労組」よりそれぞれ行い、いずれも指針で承認されました。

議件審議

①新規加入組合承認の件

湘州精工労働組合・スズキ販売労働組合の労働新規加盟について、両場一致で承認されました。そのほか各分組には加藤会長より組合費徴収がおこなわれました。

②第35・36期役員定数の件

秋田副会長より役員定数の提案がなされ、両場一致にて可決されました。

案がなされ、両場一致にて可決されました。

③第35・36期運動方針(案)の件

森嶋委員長より運動方針(案)の提案がなされ、質疑応答の後、両場一致にて可決されました。

④スズキ労働規約改定案の件

平塚事務局次長より60歳雇用制度に伴う組合員の会費についての規約改定の提案がなされ、賛成多数にて可決されました。

⑤スズキ労働者福祉統一について(案)

内山副会長よりスズキ労働者福祉統一に伴う規約改定の提案がなされ、質疑応答の後、賛成多数にて可決されました。

⑥第35期予算(案)の件

平塚事務局次長より、第35期予算案について提案がなされ、質疑応答の後、賛成多数にて可決されました。

⑦スズキ労働組合内職業者承認案

山本中央執行委員より、次期統一地方選挙の組織内候補者として「田口章」副会長の補立が提案され、両場一致で承認されました。

第35・36期 役員選挙

武蔵選挙管理委員長より第35・36期の役員候補者氏名を発表され、選挙が実施されました。選挙結果は併任多数で立候補者全員が併任され、新体制の新しい顔ぶれがここに揃いました。



第35・36期 新役員のみなさん

お疲れさまでした。



加藤会長と退任役員のみなさん

第35・36期 役員体制

役員(一) 選挙区別		氏名		現職		出身別	
会区(一)		会長(一)	副会長(一)	専任事務局次長(一)	事務局次長(二)	専任事務局次長(一)	事務局次長(二)
青野区(一)	青野区(一)	青野区(一)	青野区(一)	青野区(一)	青野区(一)	青野区(一)	青野区(一)
青野区(二)	青野区(二)	青野区(二)	青野区(二)	青野区(二)	青野区(二)	青野区(二)	青野区(二)
青野区(三)	青野区(三)	青野区(三)	青野区(三)	青野区(三)	青野区(三)	青野区(三)	青野区(三)
青野区(四)	青野区(四)	青野区(四)	青野区(四)	青野区(四)	青野区(四)	青野区(四)	青野区(四)
青野区(五)	青野区(五)	青野区(五)	青野区(五)	青野区(五)	青野区(五)	青野区(五)	青野区(五)
青野区(六)	青野区(六)	青野区(六)	青野区(六)	青野区(六)	青野区(六)	青野区(六)	青野区(六)
青野区(七)	青野区(七)	青野区(七)	青野区(七)	青野区(七)	青野区(七)	青野区(七)	青野区(七)
青野区(八)	青野区(八)	青野区(八)	青野区(八)	青野区(八)	青野区(八)	青野区(八)	青野区(八)
青野区(九)	青野区(九)	青野区(九)	青野区(九)	青野区(九)	青野区(九)	青野区(九)	青野区(九)
青野区(十)	青野区(十)	青野区(十)	青野区(十)	青野区(十)	青野区(十)	青野区(十)	青野区(十)
青野区(十一)	青野区(十一)	青野区(十一)	青野区(十一)	青野区(十一)	青野区(十一)	青野区(十一)	青野区(十一)
青野区(十二)	青野区(十二)	青野区(十二)	青野区(十二)	青野区(十二)	青野区(十二)	青野区(十二)	青野区(十二)
青野区(十三)	青野区(十三)	青野区(十三)	青野区(十三)	青野区(十三)	青野区(十三)	青野区(十三)	青野区(十三)
青野区(十四)	青野区(十四)	青野区(十四)	青野区(十四)	青野区(十四)	青野区(十四)	青野区(十四)	青野区(十四)
青野区(十五)	青野区(十五)	青野区(十五)	青野区(十五)	青野区(十五)	青野区(十五)	青野区(十五)	青野区(十五)
青野区(十六)	青野区(十六)	青野区(十六)	青野区(十六)	青野区(十六)	青野区(十六)	青野区(十六)	青野区(十六)
青野区(十七)	青野区(十七)	青野区(十七)	青野区(十七)	青野区(十七)	青野区(十七)	青野区(十七)	青野区(十七)
青野区(十八)	青野区(十八)	青野区(十八)	青野区(十八)	青野区(十八)	青野区(十八)	青野区(十八)	青野区(十八)
青野区(十九)	青野区(十九)	青野区(十九)	青野区(十九)	青野区(十九)	青野区(十九)	青野区(十九)	青野区(十九)
青野区(二十)	青野区(二十)	青野区(二十)	青野区(二十)	青野区(二十)	青野区(二十)	青野区(二十)	青野区(二十)
青野区(二十一)	青野区(二十一)	青野区(二十一)	青野区(二十一)	青野区(二十一)	青野区(二十一)	青野区(二十一)	青野区(二十一)
青野区(二十二)	青野区(二十二)	青野区(二十二)	青野区(二十二)	青野区(二十二)	青野区(二十二)	青野区(二十二)	青野区(二十二)
青野区(二十三)	青野区(二十三)	青野区(二十三)	青野区(二十三)	青野区(二十三)	青野区(二十三)	青野区(二十三)	青野区(二十三)
青野区(二十四)	青野区(二十四)	青野区(二十四)	青野区(二十四)	青野区(二十四)	青野区(二十四)	青野区(二十四)	青野区(二十四)
青野区(二十五)	青野区(二十五)	青野区(二十五)	青野区(二十五)	青野区(二十五)	青野区(二十五)	青野区(二十五)	青野区(二十五)
青野区(二十六)	青野区(二十六)	青野区(二十六)	青野区(二十六)	青野区(二十六)	青野区(二十六)	青野区(二十六)	青野区(二十六)
青野区(二十七)	青野区(二十七)	青野区(二十七)	青野区(二十七)	青野区(二十七)	青野区(二十七)	青野区(二十七)	青野区(二十七)
青野区(二十八)	青野区(二十八)	青野区(二十八)	青野区(二十八)	青野区(二十八)	青野区(二十八)	青野区(二十八)	青野区(二十八)
青野区(二十九)	青野区(二十九)	青野区(二十九)	青野区(二十九)	青野区(二十九)	青野区(二十九)	青野区(二十九)	青野区(二十九)
青野区(三十)	青野区(三十)	青野区(三十)	青野区(三十)	青野区(三十)	青野区(三十)	青野区(三十)	青野区(三十)

第35・36期運動方針(3つの柱)

1 安心な生活づくりに向けて

私たちが日々暮らして将来にわたって安心して働き、暮らしていくため、基本的労働条件の改善や魅力ある人事労務制度改善に向けて取り組みを進めます。

従業員生活向上のため、年金・医療を始めとする社会保障システムの確立、不公平規制の改善に向け、自動車労連、連合等の活動に参画し、実質的な生活向上を目指し取り組みます。

自動車労連が主催する産業労働使会議に参画し、自動車産業における政策課題の共有化と政策実現に向けて取り組みます。

2 魅力ある企業づくりを目指して

海外生産の比率が高まる中、働く者の労働環境や条件について精進し、また、企業の競争力強化と安全で働きやすい職場づくりを目指します。

スズキグループ全体の経営方針に対する想言、スズキ労連加盟の各単組が供わる問題への対応、そして、雇用問題の未然防止のために、情報収集・経営対策活動、労使協議を充実させます。こうした日常活動を過ぎた各単組の経営対策活動の定着と充実のため、スズキ労連として単組の活動をフォローしていきます。

3 労働組合組織の充実

スズキ労連の日常活動を担う各専門部は、組織力の強化に向け、労働条件の調査・整備を始め、組織・政治活動、教育活動、各種対策活動の充実に向け取り組みます。また「製造・輸送部会」「販売部会」「関連部門全組」等を新設し、管轄別活動の充実を図ります。

労働組合の社会的影響力を強化し、働く者に役目を果たした政策を実現していくためには、仲間を増やし組織率を向上させていくことが不可欠です。スズキ労連としてこれまでの課題や自動車労連の方針を踏まえ、組織拡大に向けて取り組みます。また新規組合に対しては継続的なフォロー活動を推進していきます。

年ぶりの新人の確立であり、内部的にも組織的にも、まだ後援会組織もないう状況です。早急に後援会の組織を結成し、限られた期間の中をスズキグループの魅力をあげて取り込みを進めてまいります。すでに考えている時間は過ぎました。今後は田口章を我々の代表として、何としても漢会に返るといふ強い気持ちとあわせて持ち合いながら活動を進めていきますので何卒よろしくお願ひします。また、参議院議員選挙は、名前を書く選挙制度になつてから、これまで2回の取り組みを経験しました。しかし、選挙制度がわかりにくいという点もあり、ふさわしい結果を出したとはいえません。今後、名前を書いていただける活動に向けて努力を続けていく必要があると、会員との心合わせと力合わせをよろしくお願ひします。

最後に

さて、この数年間だけを取り返つても、時代環境は毎年変化を続けています。そのスピードも早くなっています。こうした変化に対して、常に的確に対応を回れる強い組織づくりを通じて、みんなで、安心できる生活づくりに向かつての活動を進めていきますので、皆さんの一層のご支援とご協力をお願いいたします。

来賓の紹介と祝辞



自動車労連

加藤会長

日頃の総連への支援とスズキの国内生産における雇用確保に対する御礼を述べられ、また参議院選挙への組織的な協力体制の構築をお願いされる。



連合静岡

平野会長

大会場会に対する祝辞と連合静岡に入る労働相談の実情報告をされる。



静岡県労働者福祉協議会

石井会長

大会場会に対する祝辞と日本におけるワーキングタイムパランスのあり方、方向性について述べられる。



参議院議員

直嶋正行様

選任役員へのねぎらいの言葉、組織拡大に対する御礼を述べられた。また参議院選挙での民主党への協力をお願いされる。



参議院議員

池口修次様

大会場会の祝辞と自動車労連顧問としての政治活動報告、また来年の統一地方・自身参議院選挙の支援をお願いされる。



民主労働連第八区政支野真 幹事兼本部長

代理：木下様

日頃の支援への御礼と協会への祝辞を述べられる。

加藤会長挨拶



加藤会長

本日の大会は、これまでの活動を振り返るとともに、現状認識と課題認識を新たにしたから、今後2年間の運動方針を確立し合う大会です。実りある大会となるようお願いします。

本年も新しい仲間を迎えての大会となりました。1昨年は、スズキ新販売労働組合、そして派生パイプ労働組合、昨年の大会は岐阜県スズキ労働組合が仲間に加わり、本年はこの2月に結成したスズキ販売労働組合の12支部の皆さん、8月に結成した滋賀精工労働組合の皆さんに出迎えたとき、後ほどこの講評で労連加盟という記念すべき日を語れています。新たに加盟するスズキ販売労働組合、滋賀精工労働組合の今後の活動を期待するのと同時に、働く組合員が組合を結成して良かった、スズキ労連に加盟して良かったと感じる活動に向けて、スズキ労連としては最大限の支援をしていきます。

自動車産業の状況

私たちが働く自動車産業は、国内市場の成熟化の中で、海外への依存度をますます高めながら、先行している状況にあります。また、今年初めて海外での生産台数が、国内での生産台数を上回るような状況となっています。こうした海外や輸出が引っかけです。現在の生産の拡大は、為替の変動や現地の経済状況、貿易摩擦の再燃など、常に多くのご苦労を抱えながら進捗していることを、労働組合としても、常にどこかで認識しておきながら取り組んでいく必要があると思います。

スズキグループの状況

昨年スズキグループは、今後5年間で国内、海外の工場を中心に莫大な投資を行い、連結売上3兆円・経常利益1500億円以上、利益率5%以上を目指して、新たなステージに向けてチャレンジしていくという「中期5ヵ年計画」をスタートしました。2年目の今期は、この8月に今年度のスズキグループの方向性を示す明確なメッセージが発表されました。その内容については、

この1年間の努力の結集、スイフト、SX4、グラランドピタラフ、欧州、北米、中南米、大洋州などが好調であり、こうした輸出用小型車の好調さを見込み、今期に連結売上上げを3兆円の達成を目指す。また、輸出用の小型車の国内生産を昨年比で6万台増やし、軽自動車も3万台減らす。さら

に今年度は小型車の生産を3万台減らし、軽自動車の生産を3万台減らしていく。相良工場の敷地内に年度24万台規模の小型車専用工場を建設する。

これにより、新工場がフル稼働する2009年度において、国内で124万台、海外で176万台、全世界で300万台の生産を目指す。また、その後の施策としては、国内小型車販売の10万台の早期達成(2008年度)、インド・マジュールスズキ社(2008年度)の生産能力を16万台から2008年度に30万台に増やす。インド・マルチ社の生産能力を63万台から2009年度に96万台に増やす。パキスタン・パクスズキ社の生産能力を11万台から2009年度17万台に増やす。

こうした積極的な姿勢に対して、評価をしたいと思えます。同時にこの施策の成功なくして、10年先、20年先の生き残りはできません。と認識しているところであります。引き続きみんなで危機感を持ちながら取り組むと同時に、何よりも海外向けの新工場を国内につくるといって、働く者にとっても雇用確保に向けての方向性を示したところへの高い関心を感じながら、付加価値の高い、安全な商品を提供するに努めたいという、ものづくりに向け、全員で取り組みを進めたいと思えます。

軽自動車も3万台減らす。さら

コンプライアンスという基本を大切にしながら、労働組合の役目であるチェック機能の充実に向けて、それぞれの労使でお互い致します。

労使協議の状況

先日、開催された自動車産連大会において、「今後の働き方、労働時間のあり方」についての話し合いが、これまでの話し合いを踏まえ、全業種での標準化などを背景になかなか進展が図れることができません。しかし、36協定の特別条項の回数制限をはじめ長時間労働に關しての規制強化が打ち出され、労働時間の短縮化への対応が求められています。スズキ労連も組合員一人ひとりが、めとりや燃費を省くこと、仕事へのやりがいをもつていくという視座に立つて、ワークライフバランスと仕事・家庭・地域社会のバランスを深めていきたいと思えます。設備力の課題や人材の確保、人材育成、仕事のしくみ、働き方についての積極的な労使協議をお願いします。また同時に、この活力のある職場づくりに向け、この労連全体の運動としても取り組んでいきたいと思えます。

改進黨の改進黨に向けて

私たちは取り巻く環境は、経済的にはグローバル競争、社会的には少子高齢化という大きな流れの中で、政治や行政には改革を迫る中、将来に希望を寄せて日本社会への政策転換が求められています。そうした意味から、2007年4月の統一地方選挙、7月と12月の参院選、4月の統一地方選挙では、茨城県議会議員候補(予定者)として、副会長の「田口孝」を推薦の内候補として擁立し、取り組みを進めていくことを決定いたしました。また、7月の参院議員選挙では、自動車産連連合内議員である「池口修次参議院議員」を組織内候補として推薦決定し、私たちが働くものの代表として引き続き国会に返る活動を進めていきます。しかし、この取り組みは容易ではありません。スズキ労連として16

スズキ労連も販売労働組合の結成をはじめ、組織員も増えつつありです。これまでも、それぞれの事務局体制の中で、それぞれの組合には負担や不便をかけたままですが、来期は、専従の事務局体制も増員

し活動の充実を図っていきます。また、新たに車体・部品・輸送の専門部会と販売の専門部会を設け、独自のテーマに絞りをしながら、活動を進めていきたい。また、車体・部品・輸送部門は、資金利息制度への対応や特定・時間外・有給休暇などの労務時間についても取り組み課題があります。販売部門については、適正な時間管理と働き方、正月3日目の休日に向けての心合わせ、基本の日休労働条件の調査や春の取り組みの構築などについて、専門部会の中で議論を深めながら、活動の充実を図ってきたいと思えます。